

平成28年度第1回大阪府北河内保健医療協議会 開催結果

- 1 日 時 平成28年6月9日(木) 午後2時～3時20分
- 2 場 所 枚方市立メセナ枚方会館(メセナひらかた) 6階 大会議室
- 3 出席者 28名/委員43名
- 4 議 事

地域医療構想の実現に向けた取組みについて
事務局から資料1～10に基づき説明が行われた。

① 地域医療構想について(資料1～4)

【意見等】なし

② 地域医療介護総合確保基金について(資料5～8)

【意見等】なし

③ 病床機能報告の現状について(資料9)

【意見等】

(委員)

○保健医療計画では基準病床数が定められている。法的根拠のある基準病床数と地域医療構想が示す必要病床数間に矛盾を残す現状において、予備的な急性期病床を考慮せねば、たとえば今般の熊本震災のような災害発生時にはたちまち不足するという危険性があるが、この観点から北河内圏域の今後の病床数について考えをききたい。

(事務局)

○基準病床数については、次期保健医療計画における国の考え方に留意したい。地域医療構想について必要病床数を踏まえ、今後、懇話会でご意見を賜り、ご協議いただきたい。

(会長)

○必要病床数について、数字だけにとらわれず弾力的に考える議論も必要。

④ 病床転換補助金について(資料10)

【意見等】なし

(全体を通じて)

【意見等】

(委員)

○必要病床数には、急に容態が悪くなった人が搬送されるケースは数字に入っていない。救急搬送は65歳以上に多いため、今後2025年にむけてどんどん増加していくと予測される。現在の公的救急システムはすでに限界に近く、これを解決する試みとして東京都の八王子市のような民間を活用する水平連携手法があるが、これは東京都による多額の補助金支出があって成立している。病床や施設、在宅といった高齢者の居場所問題ばかりでなく、どのように患者を運ぶかという視点からも基金利用計画案を練ってもらいたい。

(事務局)

○懇話会において活用改善点等、意見をいただきながら、より効果的な基金事業にしていきたい。